

試験問題番号 73

脳内出血に関する文章で間違いを選択せよ。

- a 近年は脳卒中全体との割合では脳内出血は減少傾向にある。
- b 死亡率は脳梗塞の方が高い。
- c 高血圧性脳出血の好発部位は中脳である。
- d 脳動静脈奇形は高齢者の脳内出血の原因となる。
- e 高齢者の皮質下出血はアミロイド血管症を原因としたものが多い。

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

試験問題番号 74

脳内出血に関する文章で間違いを選択せよ。

- a 発症は前駆症状がなく突然発症することが多い。
- b 日常活動時や食事中に発症することが多い。
- c 脳局所症状は数分から数時間のうちに完成する。
- d 頭痛をきたす症例は珍しい。
- e ほとんどの症例は意識は清明である。

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

試験問題番号 75

食事中に突然発症した60歳男性の頭部CT(図7)である。以下の文章で間違いを選択せよ。

- 1 脳幹出血である。
- 2 嘔吐に気をつける。
- 3 頭痛が見られる。
- 4 左麻痺がある。
- 5 左の感覚障害がある。

試験問題番号 76

くも膜下出血についての文章で間違っているのはどれか。

- 1 脳動脈瘤破裂によるものが70～80%を占める。
- 2 脳動脈瘤はWillis動脈輪前半部の血管分岐部に好発する。
- 3 いままで経験したことのない頭痛は典型的症状である。
- 4 嘔気嘔吐を伴うことが多い。
- 5 失語症は早期から必発である。

試験問題番号 77

くも膜下出血についての文章で間違っているのはどれか。

- 1 重症例は昏睡や心肺停止に陥ることがある。
- 2 髄膜刺激症状は発症早期から陽性となることが多い。
- 3 ほとんどの症例はCTで確定診断できる。
- 4 CTで診断がつかないときには腰椎穿刺による血性髄液の有無を調べる。
- 5 再破裂は発症後6時間以内に多い

試験問題番号 78

くも膜下出血についての文章で正しいのはどれか。

- a くも膜下出血の重症度分類としてKilip分類が有名である。
- b 脳動静脈奇形はくも膜下出血の原因とならない。
- c CTでは高吸収域として白く描出される。
- d 診断がついたら血圧管理を厳重に実施する。
- e クリッピングや血管内塞栓術が根本治療となる。

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

試験問題番号 79

けいれんについての文章で間違いはどれか。

- 1 てんかんは脳波異常はあるが、画像診断で器質異常を指摘できない。
- 2 症候性痙攣とは器質異常がある症例のけいれん発作である。
- 3 てんかんの間代性発作は全般発作である。
- 4 てんかんの強直性発作は部分発作である。
- 5 てんかんの部分発作では意識障害は起きない。

試験問題番号 80

熱性けいれんについての文章で間違いはどれか。

- 1 持続時間は長くても数分でおさまる。
- 2 好発年齢は3ヶ月から5才以下の乳幼児である。
- 3 学童期には熱性けいれんはなくなる。
- 4 解熱後に繰り返すことはない。
- 5 1回の発作でも重篤な後遺症を残す。